

その手をつなぐために その輪を広げるために

～災害に対する取り組み～

近年、全国的に地震や大雨、それに起因する様々な災害により多大な被害が発生しています。災害が起きることを防ぐには限界がありますが、被害を抑えることは可能であり、「日常を取り戻すこと」は個人の力だけでなく、どれだけ効果的な支援が届くか、その輪が広がるかだと考えます。

安芸高田市社会福祉協議会では、令和8年8月4日に安芸高田市被災者生活サポートボラネット推進会議を開催し、災害時に被災者を支援する活動が迅速に行えるよう、安芸高田市の関係機関・団体の方々と情報交換等を行いました。

会議では、災害ボランティアセンターの早期設置と関係機関の連携の必要性を話し合い、そのためには平時からの相互ネットワークの強化をはじめ関係機関の役割分担、訓練やボランティアの事前登録などの備えの必要性を再確認しました。

今後、これらの取り組みを推進し、効果的な支援活動ができる体制づくりを図るとともに、安芸高田市においても被害のあった令和3年広島豪雨災害の経験を風化させないため、推進委員の方々と研修を行い、さらなる意識醸成と支援体制の強化に努めてまいります。

末筆ではございますが、自然災害によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の暮らしが一日でも早く平穏を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。

令和8年度
会議の様子



令和7年度
研修の様子

